

小学校社会 第4・5・6学年

各学年共通した課題		習得した知識や資料から読み取った情報を活用して、社会的事象の特色や意味などを考え表現すること	
学年	設問	設問のねらいと問題の概要	正答率(%)
4	大問 3(1)①	○ 小平浪平に関する知識・技能	61.9
5	大問 5(1)③	○ 日本の漁業の特色についての思考・判断・表現	40.5
6	大問 7(2)②	○ 江戸幕府と外国との関係性についての知識・技能	38.5

— 復習のポイント — 小学校第4・5・6学年の皆さんへ

社会科で問題を解決するためには、「資料から読み取ったこと」や「これまでに学習したこと」を使って考えることが大切です。まずは、問題文中の資料からはどのようなことが読み取れるか、問題の内容についてこれまでどのようなことを学習してきたかを明らかにして、問題にもう一度チャレンジしてみましょう。

第4学年の問題から

例) 大問 3(1)①の問題ならば・・・

○次の2つの資料から読み取ったことをもとに、

資料1の年表から読み取ったこと

小平浪平はどのような人で、何を行いましたか。

資料2のお話から読み取ったこと

小平浪平はどのようにモーターを完成させましたか。

4人の会話

正しいことを話しているのは誰ですか。

第5学年の問題から

例) 大問 5(1)③の問題ならば・・・

○次の3つの情報を組み合わせて、考えてみましょう。

資料1や問題文から読み取ったこと

日本の漁場は世界的に見て、どのような漁場といえますか。

資料2や問題文から読み取ったこと

1970～1995年の間に、日本の水産物輸入量はどのように変化しましたか。

これまでに学習したこと

「輸入」とは、何をすることですか。

第6学年の問題から

例) 大問 7(2)②の問題ならば・・・

○次の2つの情報を組み合わせて見えてきたことを、これまでの学習とつなげましょう。

資料5や吹き出しから読み取ったこと

使節団は、どこから来ていましたか。

資料6や吹き出しから読み取ったこと

江戸時代の日本は、どのような人たちと交流していましたか。

これまでに学習したこと

江戸時代に学習したことで、左の2つに関することは何ですか。